



- 会 期** 2020年11月28日(土) - 2021年3月28日(日)
- 開館時間** 9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
- 休 館 日** 月曜日(1月11日は開館、1月12日は休館)、年末年始(12月28日~1月4日)
- 観 覧 料** 一般510(400)円、高校・大学生400(320)円、小中学生200(160)円  
( )は20名以上の団体料金  
65歳以上の方(要公的証明) および障害者手帳をご提示の方(介護者1名含む)は無料
- 主 催** 京都府、京都府立堂本印象美術館(指定管理者:公益財団法人京都文化財団)、  
京都新聞
- 助 成** 一般財団法人地域創造

◎新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合がございます。ご来館前に当館ホームページなどで最新情報をご確認ください。

報道関係 | 京都府立堂本印象美術館 担当:山田、森  
お問合せ先 | TEL: 075-463-0007 FAX: 075-465-3099 MAIL: museum@d-insho.jp

## 展覧会概要

昭和 27 年（1952）5 月、日本画壇の重鎮として活躍していた堂本印象はヨーロッパへ旅立ちました。当時、印象は、京都から特急列車で東京へ向かい、羽田からプロペラ飛行機で約 50 時間かけてイタリア・ローマに到着した後、さらにフランス、スペイン、ドイツ、スイスなどを訪問しました。印象は約半年間の滞在中、西洋古典美術のみならず現代美術の動向にも直に触れ、自身の今後進むべき道を確認して帰国しました。

本展では、帰国後に発表した《メトロ》や《窓》のほか、ヨーロッパ滞在中に描いた現地のスケッチ画、油彩画など、ヨーロッパ旅行に関連して制作された作品を紹介します。還暦を過ぎて、ようやく叶った憧れのヨーロッパ旅行で印象が目にした様々な風物をともに味わっていただければ幸いです。

## 展覧会のみどころ

### 印象、ヨーロッパへ行く

若い頃の印象は、家計を支えるために染織デザインの仕事をしながら絵を学んでいたため、なかなかヨーロッパに行って、現地の美術を見学するチャンスがありませんでした。

しかし、60 歳を過ぎてから、ようやくヨーロッパを旅する機会を得ます。現地で描いたスケッチや油彩画からは、念願のヨーロッパで高鳴る心のうちが伝わってきます。

世界的な新型コロナウイルスの流行で海外への渡航が難しくなった今、展覧会を通じて旅行気分を楽しんでみてはいかがでしょうか。

### 新しい日本画を目指して

ヨーロッパ旅行で刺激を受けた印象は、帰国後《メトロ》や《窓》を発表します。形態のデフォルメや簡略化といった造形的な表現に取り組んだこれらの作品には、新しい日本画を模索する印象の意欲がよく表れています。また、旅行中に鑑賞したピカソやルオーの陶芸作品に影響を受け、工芸という新たなジャンルにも本格的に挑戦しました。

# 主要 出品作品

いずれも堂本印象作、  
京都府立堂本印象美術館蔵



《ドイツの朝》1952年



《窓》1953年



《サン・ミッシェル》1952年



《メトロ》1953年



《ローマの宿の朝》1952年



《白い手袋と猫》  
1954年



《アルゼリヤの女》1954年



《少女》1956年

『美の  
跽音』(挿絵)  
あしおと



《コンコルド広場》1952年



《ビガール (モンマルトル)》1952年



《シテ附近》1952年



《ポア・ド・ブローニュのカフェ》1952年



《ベニスの大運河》1952年

# 京都現代作家展

2020年11月28日(土)～2021年1月24日(日)

vol.13 <sup>みせ なつのすけ</sup> 三瀬夏之介 「おにの神さん／奇景」



奇景 (部分) 2003年～



1973年 奈良市生まれ  
1997年 京都市立芸術大学美術学部美術科日本画専攻 卒業  
1999年 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻 修了  
2003年 個展「わたしは絵が描きたい」／neutron B1 gallery (京都)  
2009年 VOCA展2009、京都市芸術新人賞 受賞  
2014年 京都府文化賞奨励賞、創造する伝統賞 受賞  
2015年 個展「日本の絵—執拗低音—」／京都市美術館別館  
2018年 山形ビエンナーレ2018 キュレーター  
現在 東北芸術工科大学教授

2021年1月26日(火)～3月28日(日)

vol.14 <sup>やまだ しん</sup> 山田伸 「美への胎動」



悠悠 2007年



1960年 宮城県に生まれる  
1988年 東京藝術大学大学院美術研究科日本画専攻修士課程修了  
1991年 薬師寺中門仁王像彩色事業に参加  
1994年 安土城天守閣障壁画再現事業に参加  
再興第79回院展奨励賞受賞／成川美術館買い上げ  
1995年 文化庁第29回現代美術選抜展に出品  
2002年 京都日本画家協会新鋭選抜展京都文化博物館賞受賞／  
同館買い上げ  
2007年 再興第92回院展日本美術院賞(大観賞)、足立美術館賞受賞／  
同館買い上げ  
2016年 個展(高島屋:京都・大阪)  
2017年 個展(高島屋:横浜・日本橋)  
式年遷宮記念神宮美術館特別展に出品  
現在 日本美術院招待  
京都芸術大学美術工芸学科日本画コース教授  
京都日本画家協会所属